



西本 葉子 先生

西本 葉子（にしもと ようこ）先生は平成19年に食育指導士の資格を取得され、平成21年には「やまぐち食育くらぶ」を結成されました。

現在、市内の小・中学校や幼稚園・保育園、子育て広場のみならず、県内各所で食育講座を開催しておられ、食育の大切さを子育て世代のご家庭に呼びかけておられます。

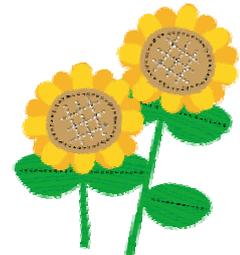
2011年にはコープ山口主催の「女性いきいき大賞」最優秀賞（山口県知事賞）を受賞されています。



また、「やまぐち食育くらぶ」は、山口市の学校給食を民間委託にしようという計画が持ち上がった時に、「食育を学び、子どもたちのための給食を考えていきたい」という保護者の方からの呼びかけを受けて「ママたちが立ち上げた子どもたちの給食を守る会」を作られたことが、その始まりだそうです。現在は、食育講座だけでなく、食育情報誌を発行されるなど、活動の幅を広げておられます。



前田 真奈美 先生



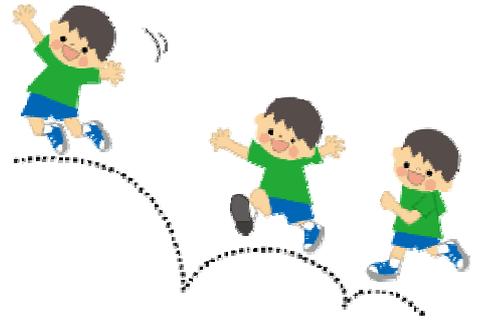
前田 真奈美（まえだ まなみ）先生は、豊北町立（現 下関市立）田耕小学校で、教員生活をスタートされました。

平成10年から学校図書館教育に本格的に取り組まれるとともに、公民館での読み聞かせ、図書館での読書感想文講座等にも積極的に取り組んでおられます。

平成21年には、これまでの功績が評価され、「文部科学省優秀教員表彰」を受賞されました。現在の勤務校である江浦小学校で開催された「中国地区学校図書館教育研究大会」の研究発表を始め、全国大会でも事例発表をされるなど、学校図書館教育の普及に尽力しておられます。

中村 津峰子 先生

中村 津峰子（なかむら つねこ）先生は、神戸大学教育学部教育心理学科をご卒業後、大阪府立摂陽中学校に3年間、勤務されました。その後、神戸大学教育学部教育心理学科教務補佐員を経て、宝塚市教育委員会教育研究所の教育相談員として「心理臨床」の仕事に携わられました。平成元年に「臨床心理士」の資格を取得されました。



平成3年に長門に転居され、私設の相談室「わらべ」を開設。現在、「わらべ」での相談活動をベースに、スクールカウンセラー、県警の被害者支援カウンセラー、長門市教育委員会教育相談窓口での業務のほか、各地で講演を行われるなど、多方面で活躍しておられます。



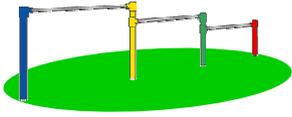
阿濱 茂樹 先生



山口大学教育学部 准教授 阿濱茂樹（あはま しげき）先生は、山口大学教育学部中学校教員養成課程をご卒業後、兵庫教育大学にて学校教育学修士課程、博士課程を修了され、2006年に現職に就かれました。

技術教育、情報教育がご専門で、情報安全教育や情報モラル教育の研究に携わっておられます。

著書に「インターネットの光と影 ver. 4（北大路書房）」「図書館と情報モラル（青弓社）」等があります。



山部 巧先生



山部 巧（やまべ たくみ）先生は、山口大学教育学部中学校教員養成課程（保健体育科専攻）をご卒業後、「財団法人 熊本YMCA」、「山口県十種ヶ峰青少年野外活動センター」、「ウィングスポーツクラブ」に勤務され、幼児体操の指導や学習障害児活動支援など、数々の運動指導に携わってこられました。

現在は、「ダンスファミリー美和 山口支部」の代表を務められ、子どもから中高年、高齢者まで幅広い年代を対象とした運動指導を行われるなど、県内各地でご活躍されております。

【資格】

中学校教諭一種免許状（保健体育科）、
高等学校教諭一種免許状（保健体育科）、
特別支援学校教諭一種免許状、
健康運動指導士、国際救命救急協会ヘル
スケアプロバイダー



川尻 裕子先生



川尻 裕子（かわじり ゆうこ）先生は、山口大学教育学部幼児教育教員養成課程をご卒業後、須佐町立（現萩市立）育英小学校を皮切りに小学校教諭としてご活躍されています。山口市立秋穂小学校在職中に、幼児教育長期研修派遣教員として、山口市立宮野幼稚園やその他の保育園にて「就学前教育から小学校へつながる子どもの育ち」をテーマに研鑽を積まれました。

その後も、幼稚園児や保育園児と小学生との交流活動を企画したり、小学校低学年での指導方法を工夫したりしながら、就学前教育から小学校教育への滑らかな接続について、現在も研究・実践を積み重ねておられます。